

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (東北)		衣料品専門店（経営者）	・秋冬物の準備が始まるため、全く客足のない今よりは動きがあるともっている。
		商店街（代表者）	・例年この時期は、天候に左右される日が多くなる。特に店舗や商店街への来客数に影響するため、現在の晴天が続けば上向きの状態が続くとみている。
		コンビニ（エリア担当）	・人口減少の影響は今後も継続するとみているが、天候が良ければ売上の改善が見込める。
		衣料品専門店（経営者）	・秋物がスタートするため、活気がでることで売上の向上が期待できる。
		衣料品専門店（店長）	・天候に異常がなければ、秋物商材が順調に立ち上がるとみている。
		乗用車販売店（店長）	・この先は、新型車が発売される。また、半期決算月に向かうため、販売量が増えるともっている。
		住関連専門店（経営者）	・この先2～3か月は制作、納品があり、今よりは多くの販売量が見込める。
		住関連専門店（経営者）	・秋になって涼しくなり動きやすい時期となれば、商品購入の意欲が多少高まるとみている。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・秋口は日本酒のシーズンとなる。また、酒税法の一部改正による影響も落ち着くとみており、動きが出てくるものと期待している。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・夏は暑さと共に来客数が増えている。この先も繁忙期であり、また、秋に向けての動きも良くなるとみている。
		高級レストラン（支配人）	・早めの予約がみられており、この先数か月は良い傾向にある。
		一般レストラン（経営者）	・8月は商売的にやや暇になる時期であるが、気温が上がれば人も増えるため、来客数が増えるともっている。
		観光型ホテル（経営者）	・スポーツ関係の全国大会が開催されるため、予約件数は2か月先まで前年を上回っている。
		観光型旅館（スタッフ）	・来客数は前年比10%減少で推移しているものの、宿泊単価が前年より良く、ほぼ横ばいで推移するとみている。
		都市型ホテル（スタッフ）	・この先は大きな祭りが控えており、お盆には多くの人々が地元に戻ってくる。そのため、9月までは帰省客などの宿泊利用により、売上は好調に推移するとみている。
		競艇場（職員）	・今後のイベントで多少売上がアップする見込みである。現状は購入単価が問題であるが、来客数でカバーしていく方向にもっていきたい。
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・夏の贈答品などは好調に推移するとみている。
		商店街（代表者）	・首都圏では、富裕層が多少の消費を始めた様子であるが、地元ではいまだそのような傾向はなく、従来のみで推移している。この先もあまり変わらないとみている。
		商店街（代表者）	・見込んだほどのボーナス効果もなく、物販のみならず飲食店、サービス関連も苦戦が続くそうである。
		商店街（代表者）	・夏休みや暑さにより、商店街からは更に人が少なくなってしまう。
		商店街（代表者）	・秋にかけて大きなイベントがあるため、ある程度の来客数は見込めている。ただし、生活必需品以外の購買意欲に大きな変化がなく、景気は変わらないとみている。
		一般小売店〔書籍〕（経営者）	・引き続き社会に不安感があり、消費マインドを押し上げるような政策も乏しいため、先行きは相当厳しいとみている。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・毎日暑い日が続いており、イベントも多いため、繁華街にはたくさんの人が出ているが、夜間の買物客は非常に少ない。この状況はこの先も続くとみている。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	・先行きは相変わらず不透明であり、楽観視できない。現状維持ができるように努力をしていきたい。
		一般小売店〔寝具〕（経営者）	・今年に入ってから、先行きが見通しづらい状況が続いているものの、景気の低迷が続くのではないかとみている。
		百貨店（営業担当）	・売上に影響を与えるような大きな要因もなく、現状維持で推移するとみている。ただし、ここ数か月は婦人服の動きが良くなってきているため、引き続き秋物衣料の動きが良くなれば、売上が上向き可能性もある。
		百貨店（営業担当）	・個人所得の向上に期待が持てないため、この先個人消費が上昇するとは考えにくい。
	百貨店（買付担当）	・客の買い控えが一段と進んでいる。また、顧客年齢が高いため、天候にもかなり左右されている。	

百貨店（経営者）	・売上の微増傾向は今後も継続するとみている。あまり天候に左右されない高額商材の動き次第では、更に上向き可能性もある。
スーパー（経営者）	・梅雨空けを前にした雨によるダメージがあり、ギフトの動きもあまり良くない。
スーパー（経営者）	・政治の行方が気になるが、特に消費環境に変化はなく、しばらくは現在と同様の状況で推移するとみている。
スーパー（店長）	・相変わらず価格競争が激しく、景気が好転するような要因もない。
スーパー（店長）	・競合店の出店による来客数の減少傾向は今後もしばらくは続くとみている。
スーパー（総務担当）	・国内外の政局が不安定になっているが、特に景気が悪くなるような要因は見当たらない。当面は現状維持で推移するとみている。
スーパー（営業担当）	・残暑に伴う商品動向、例えば、秋物のスタートが鈍くなれば厳しくなる可能性はあるものの、大きくは変わらないとみている。
コンビニ（経営者）	・客単価、買上点数共に順調に推移している。今年の夏は気温の高い状況が続く見込みのため、飲料系を中心に好調が続くとみている。
コンビニ（経営者）	・来客数は落ち着いてきている。人口減少傾向に変わりはないが、ある程度の固定客が見込めており、売上も横ばいで推移するとみている。
コンビニ（経営者）	・店舗周辺的环境に特に変化がないため、現状維持で推移していくとみている。
コンビニ（エリア担当）	・景気が変化するような、大きな外的要因がない。
コンビニ（エリア担当）	・競争環境に変化はなく、今後の景気が上向きような要因もない。
コンビニ（エリア担当）	・来客数が減少しており、回復の兆しがみえない。
衣料品専門店（経営者）	・衣料品に対する節約志向はこの先も変わらないため、厳しい状況が続くとみている。
衣料品専門店（経営者）	・集中豪雨による農家の収入減や、農協関係の取引先への影響を懸念している。
衣料品専門店（店長）	・今後も夏物商材へのニーズは好調に推移するとみている。ただし、単価が稼げるビジネス衣料については、9月の立ち上がりまで苦戦が見込まれる。
衣料品専門店（店長）	・現在の売上は天候に左右されており、景気自体の回復は実感できていない。今後も景気の動きに変動はないとみている。
衣料品専門店（総務担当）	・このまま、あまり動きのない状況が続くとみている。
家電量販店（店長）	・天候が良く気温が高かったため、エアコンや扇風機などの季節商材の販売量が増加したが、この先は気温も落ち着くため、大きな変動はないとみている。
家電量販店（店長）	・来客数、客単価共に減少傾向にあり、この状況は今後も続くとみている。
家電量販店（従業員）	・季節商材の販売の勢いが止まったときに、売上も停滞してしまう。
乗用車販売店（経営者）	・新車販売の好調はこの先も継続するとみている。
乗用車販売店（従業員）	・客の景気はあまり良くなく、この先は新型車の発表もないことから、景気は伸び悩むのではないかと。
乗用車販売店（従業員）	・新規の来客数で景気を見るが、ここ数か月変化がないため、この先も急激に良くなるとは考えにくい。
住関連専門店（経営者）	・来客数が増えない状況は今後も続くとみている。
その他専門店 [白衣・ユニフォーム] (営業担当)	・業界的に、これから秋口にかけての話題に乏しい。目玉商品というものがなく、顧客への訴求力が欠けているのではないだろうか。新商品とカタログはほぼ出そろっているが、果たして購買につながるかは疑問である。
その他専門店 [ガソリンスタンド] (営業担当)	・この先、燃料需要が増える要因が見当たらない。
その他専門店 [ガソリンスタンド] (営業担当)	・猛暑も期待していたほどの状況ではなく、販売価格も安定している。また、この先も大きな変動要因がない。

一般レストラン（経営者）	・ 経済はなだらかに回復しているといわれているが、実態が伴っていない。周囲をみても家計が厳しく、なかなかレストランに足を向ける余裕はない様子であり、このまま低空飛行が続くとみている。
一般レストラン（経営者）	・ 気温は上がったが、それだけで景気に対する起爆剤になるとは考えにくい。
スナック（経営者）	・ これからお盆休みもあり、外に出てお金を使う機会も増えるため、我々の業種にまでお金が回ってくるとはなかなか考えにくい。最近では本当に団体客が少なく、厳しい状況はまだ続くとみている。
観光型ホテル（スタッフ）	・ 団体客の伸びが鈍い状況は、今後も続くとみている。
観光型旅館（経営者）	・ 予約状況から消費に対するめりはりがうかがえるものの、良くも悪くも変化する要因が見当たらず、低空飛行の状態が続くとみている。
都市型ホテル（スタッフ）	・ 宿泊は前年並みであるものの、宴会部門の予約状況は参加人数、単価の増加傾向に変化がないため、先行きの景気も変わらないとみている。
旅行代理店（経営者）	・ 良くなるような材料が見当たらない。夏休み需要もあまり伸びておらず、財布のひもが固くなってきているように見受けられる。団体旅行はそれほど大きな変動がないため、個人消費がうまく回っていないのではないかと。
旅行代理店（従業員）	・ 長引く海外情勢不安の影響から、客の様子見の状態が続くとみている。
通信会社（営業担当）	・ 景気が上向きような要因が見当たらない。
通信会社（営業担当）	・ 景気が大きく変化するような材料に乏しい。
通信会社（営業担当）	・ 既存のサービスに低価格のオプションメニューを付加して解約を防いでいる。客の満足感が得られるように2か月間無料のサービスを盛り込んでいることから、今後この効果が表れることを期待している。
通信会社（営業担当）	・ 新製品に対する引き合いがあまりない。
テーマパーク（職員）	・ 買上単価の上昇は今後も見込めない。
観光名所（職員）	・ 良くなっている感じはあるものの、そのほとんどを占めるフリー客の動きが読めないため、この先の景気が良くなるとも悪くなるともいえない。
遊園地（経営者）	・ イベントの推進などにより、前年並みとなる見込みである。
美容室（経営者）	・ 景気が良くなるような要因が見当たらない。この状況はこの先も変わらないとみている。
住宅販売会社（経営者）	・ 建て替えやリフォームなどの案件はあるが、不動産紹介の伸びが低いと、土地建物及び建て売の伸びが期待できない。
その他住宅[リフォーム]（従業員）	・ 売上につながるような案件が増えない状況は、今後も続くとみている。
一般小売店[医薬品]（経営者）	・ 売上の増加傾向は続いているものの、来客数の減少が止まらない状態である。加えて客単価も減少気味であるため、先行きに多少の不安がある。
一般小売店[医薬品]（経営者）	・ 前月から続いている業績悪化の原因に心当たりがなく、この状況が当店に限ったものなのか、全体的な景況悪化によるものなのか、判断できない。
百貨店（売場主任）	・ 秋物の入荷が始まる時期であるものの、高めの気温が予想されており、急に秋物の動きが活性化するとは考えにくい。これまでの慎重な購買姿勢とあわせて、更に厳しくなるのではないかと。
百貨店（企画担当）	・ 全体としては5%の減少に留まっているものの、食品は5%以上、婦人関係で15%以上の減少となっている。来客数の減少傾向も変わらず、これまで以上に減少率が上がる可能性がある。
スーパー（店長）	・ 競合店の出店や改装により、今後も厳しい状況が続くとみている。節約志向が更に強まり、客は無駄な買物をしなくなるのではないかと。
スーパー（営業担当）	・ 同業種及び異業種の競合店の出店により、来客数の減少が懸念される。地方都市における市場規模の縮小は加速しており、既存店のみで前年実績を上回ることは不可能になってきている。
コンビニ（経営者）	・ 競合店の影響が徐々に出てきている。
コンビニ（エリア担当）	・ 労働人口だけでなく、購買人口も減少している。
コンビニ（店長）	・ 各業界から、ここ2～3か月前から地元での仕事がないという話を聞いており、先行きに対する不安がある。

	コンビニ（店長）	・最盛期の現在に比べれば、当然来客数は減少するが、残暑が続く見込みのため、売上が大きく減少することはないとみている。ただし、秋は大きな祭りやイベントがなく、売上が大きく上がることもない。
	乗用車販売店（経営者）	・政情が不安定な方向に進みつつあり、景気の先行きに不安がある。
	その他専門店〔食品〕（経営者）	・今後はますます人手不足が顕著となり、商品価格に転嫁せざるを得ない状況になる。そのため、消費者意識は専門店よりもより安価な大手資本の総合スーパーに流れていくことが見込まれる。
	その他専門店〔靴〕（従業員）	・今月の好調な状況は季節的要因が大きく、決して景気の基調が好転したからではないため、この先は厳しくなるとみている。
	高級レストラン（経営者）	・今年の6月ごろから景気が減速しており、この先も前年並みを維持することは難しい。
	一般レストラン（経営者）	・政治的な混乱もあり、先行きは少し厳しくなるのではないかと。
	一般レストラン（経営者）	・地元は農作業に関わる人が多く、秋は稲刈りなどがあり、人が外に出てこられなくなる。このことから、外食系はとても静かになってしまう。人数的にもかなり多いため、売上への影響は避けられない。
	旅行代理店（店長）	・8月以降、特に9月の国内パッケージ商品の予約が入ってこない。
	通信会社（営業担当）	・今後は、通信業界の低迷による安売り競争が始まる。お盆需要で消費動向は多少の上向きになるとみているものの、政治の力も弱まっており、マーケットはより厳しい状況となるのではないかと。
	x スーパー（経営者）	・店舗過剰状態とデフレ化が進んでいる。また、可処分所得の伸びが見込めないため、この先も景気は悪くなるとみている。
企業 動向 関連 (東北)	-	-
	金属製品製造業（経営者）	・見積案件が増えてきている。
	電気機械器具製造業（企画担当）	・これまで以上に半導体製品の大口価格が上昇する見込みである。そのため、従業員への還元も期待できる。
	金融業（広報担当）	・夏祭りの時期を迎えて、年間を通じて地元の集客力が最高潮となることから、それに乗じて消費金額の大幅増加が期待できる。
	農林水産業（従業者）	・主力品種であるモモの最盛期が前年よりも3～4日遅いが、旧盆前の需要期には高値が期待できる。
	食料品製造業（経営者）	・閉店した百貨店における後継店の話はなく、販売先や販売量が増えるような活気のある話もない。
	食料品製造業（営業担当）	・既存商品の販売量減少分を新商品でカバーしたいが、あまり良い結果は出ていない。今後も苦しい状況に変化はないとみている。
	食料品製造業（総務担当）	・現状からこの先消費全体が下振れすることはないとみているものの、かといって景気拡大につながるような具体策もない。
	木材木製品製造業（経営者）	・価格競争により、収益の改善が難しい状況が続くとみている。
	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・自治体の大きなイベントなどの仕事も、価格で大手業者に取られてしまうケースが増えてきている。
	出版・印刷・同関連産業（経理担当）	・受注量が前年並みに回復してきており、この傾向は変わらないとみている。
	窯業・土石製品製造業（役員）	・東北地域において出荷量は現状維持程度であり、大幅に需要が増える状況ではない。また、大雨や台風の影響により、出荷できない日が増える可能性がある。
	一般機械器具製造業（経営者）	・国内受注は堅調であるものの、海外需要が弱くなってきており、全体としての伸びは期待できない。
	電気機械器具製造業（営業担当）	・受注状況が大きく変わる要素は見当たらない。
	建設業（経営者）	・今後2～3か月は現在の好調な状況が続くとみている。ただし、技術者などの人手不足もあり、工期が心配である。
	建設業（従業員）	・この先2～3か月は、大型公共工事の受注者確定や契約の時期が続くため、景気は現状と同じ状態が続くと見込んでいる。
	建設業（企画担当）	・工事受注額は当初の見込みどおりであるため、この先2～3か月は現状のままで推移するとみている。
	輸送業（経営者）	・順調に推移しているが、全体的な物量が増えていないため、横ばい状態が続くとみている。

	通信業（営業担当）	・会社間の交渉において、担当者レベルでは限界がある。今後は取引先との付き合い方にも検討が必要である。
	通信業（営業担当）	・国政が不安定のため、先行きも不透明である。
	金融業（営業担当）	・特に大きな変化要因はない。
	広告代理店（経営者）	・先行きの景気が大きく変わる要因はない。
	広告代理店（経営者）	・広告量の動きは、一部の都市は堅調であるものの、東北他県の動きや東京からの入込が鈍い。
	公認会計士	・建設関係は秋ごろまでは受注量を確保している企業が多く、極端に減少する要因は見当たらない。また、小売業も夏には少し盛り返すとみている。
	コピーサービス業（従業員）	・セキュリティ関連の商材が動いているが、単価はそれほど高くないため、売上に大きく影響するまでには至らないとみている。
	その他非製造業〔飲食料品卸売業〕（経営者）	・1人当たりの飲酒量の減少、飲酒可能な人口の減少など、依然として節約志向が続いている。このことから、消費動向を上向かせる要因が見当たらない。
	その他企業〔企画業〕（経営者）	・流通業関係の得意先に明るい見通しが無い。また、当社の得意分野である住宅関係も、展示場来場者数に比べて成約件数が少ない。
	金属工業協同組合（職員）	・受注案件はあるものの、人手不足が解消されないため、仕事量の調整などの対応に苦慮している。
	農林水産業（従業者）	・例年に比べて雨が多いため、ソバの種まきと生育への悪影響を危惧している。また、北海道の春まきソバが豊作だったことにより、玄ソバ価格が下落している。
	広告業協会（役員）	・マスメディアも7～8月を見限っており、9月以降の回復に期待をしている。
	経営コンサルタント 司法書士	・東北各地における、豪雨災害の影響を懸念している。 ・地元登記所における不動産登記申請件数は、前年同月比で20%程度減少している。この先、多少の反動は見込めるものの、全体としての不動産取引総数は減少傾向にある。
	その他非製造業〔飲食料品卸売業〕（経営者）	・景気が良くなる要素は全くない。したがって国や自治体は中小企業に対して支援策を考えてほしい。
	x	-
雇用 関連 (東北)		-
	人材派遣会社（社員）	・求人数、求職者数共に堅調に推移している。
	人材派遣会社（社員）	・これから上期から下期への移行時期に入ること、求職者に動きがあるとみている。
	アウトソーシング企業（社員）	・単価の上昇が見込まれており、景気は良くなるとみている。
	民間職業紹介機関（職員）	・製造業は回復傾向にあり、求人数が多くなってきている。
	人材派遣会社（社員）	・現状における減収要因は2～3か月先には改善する見込みである。
	人材派遣会社（社員）	・人材を採用しようとする動きが、新卒採用から中途採用に切替わってきている。企業の採用意欲は変わらず、景気も良い状態のままで推移するとみている。
	人材派遣会社（社員）	・求職者のミスマッチという状況に変化はないとみている。
	人材派遣会社（社員）	・中小企業において、採用難易度が更に高まっている。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・求人関係では、新卒応募が少なく採用側の企業には諦めムードが漂っている。新卒から中途採用に切替え、秋採用を検討している企業も多い。人手不足が続くと地方景気に大きな影響が出る可能性がある。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・人手不足は継続しており、特にお盆の求人広告の申込が低調である。
	職業安定所（職員）	・求人数は増加傾向にあるものの、賃金の増加などの条件の向上がみられていない。
	職業安定所（職員）	・管内百貨店において、店舗面積縮小などによる人員整理離職者の発生予定があるものの、小売業ほか多くの業種で人手不足が継続している。製造業でも特に自動車部品、半導体関連で求人の増加が見受けられるが、正社員求人に増加の動きはない。
	職業安定所（職員）	・求人数は人手不足により変化がなく、新規学卒者求人数も順調なことから、先行きも特に変化がないとみている。
	職業安定所（職員）	・地元では水産加工会社を中心となっているが、なかなか魚の水揚げが増加せず、工場が再建されたものの、思うように生産が進んでいない。悪くはならないが良くもならないという状況が続くとみている。
	職業安定所（職員）	・求人の動きは依然として活発である。ただし、求職者の減少傾向も変わらず、人員確保に苦慮している企業が増加している。

	職業安定所（職員）	・平成29年4～6月にかけての有効求人倍率は若干上昇しているものの、今後大幅な改善は見込めない。
	学校就職担当者	・新規採用、増員計画が年度当初より増加していないため、大きな変化はない。また、首都圏企業と比較すると、地元の採用試験の開始時期は2か月以上遅く、雇用環境に応じた柔軟性に乏しい印象がある。
	職業安定所（職員）	・プラスチック加工業、時計製造業、小売業で、若干の人員整理が行われる予定と聞いている。
x	-	-